

一九七七年以前出土の木簡 (八)

1977年以前出土の木簡

- 1 所在地 奈良・平城宮跡（第一四次調査）
- 2 調査期間 一九六三年（昭38）一二月～一九六四年三月
- 3 発掘機関 奈良国立文化財研究所平城宮跡発掘調査部
- 4 調査担当者 斎藤 忠
- 5 遺跡の種類 宮殿・官衙跡・都城跡
- 6 遺跡の年代 奈良時代～平安時代初期
- 7 遺跡及び木簡出土遺構の概要

第一四次調査は平城宮西南隅の確認を目的として、宮西南部で行つたものである。検出した遺構は掘立柱建物一〇棟、南北塀四条、井戸二基等であり、さらに発掘区の南をかぎる農道と水路の南に、二カ所小規模なトレンチをいれて、南面大垣の塙地と二条大路北側溝を検出した。木簡はこの二条大路北側溝から、計七点発見した。

木簡はいずれも保存状態がわるく、赤外線写真等によつても釈読で

きなかつた。

9 関係文献

奈良国立文化財研究所『平城宮発掘調査報告Ⅸ』（一九七八年）
同『平城宮木簡』（一九七五年）

（鬼頭清明）

